
新しい物が床中に散らばった部屋で一人。

林檎

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

新しい物が床中に散らばった部屋で一人。

【Nコード】

N1530B

【作者名】

林檎

【あらすじ】

あらすじは、特にないです。短いので、気が向いたら読んでみてください。

来てる。

ベッドに腰かけて、頭を垂れてる私。

だって、この状態から頭を上げるのも面倒臭い。

頭が重くて。首に力が入らない。

第一、頭を上げたところで何がある？

今私の目に映るのは、髪の毛と埃がへばりついたカーペットと、いつまでたっても伸びない髪の毛。

顔をあげたら、そこには真っ白な壁があるだけなんだ。

鳴らない電話。

鳴らしたのに。

特に用事もないのに鳴らした。

色んなひとに。みんな出やしない。だけど誰かかけなおして来ても、出るのが面倒臭い。

誰と話しても満たされない。

話したら疲れる。

だって受話器から声が高くてうるさいんだ。

頭の中でエコーしてずっと消えないから。

眠れなくなる。

なんか、寂しいっていうのとは違うよ。

だって学校に行くと友達が沢山居てね。

その服可愛いね。痩せた？今日教室どこ？おはよう。バイバイ。

いっぱい居る。私が優しくした分だけ、みんなも優しくしてくれるんだ。

だけど私、頑張るのほんとはあんまり得意じゃない。

私、なんでこんな苦しいんだろ。部屋には誰も居ない。誰もきてくれない。

だってみんなそんなに暇じゃない。

私だってほんとはいっぱい忙しい。すること沢山あるよ。

私、みんなと同じだよ。

授業受けて、バイトして。綺麗にお化粧して、流行りの洋服着て。駅まで颯爽と歩いて。時には誇らしくなったりして。

寒くなったね。

今年も駅前にツリー出たね。

なんでこんなに苦しいの。

なんで何しても満たされない。

なんで何しても息苦しくて。

なんで涙が出ないの。泣きたいよ。

泣きたいんだよ。きつと。

だけど、泣く理由なんてひとつも見つからない。

馬鹿らしいって頭の中で言う。言いたくないし考えたくもないけど、頭の中で。

明日も明後日も満たされないんだぞ。何かしたら満たされと思うてるのか？

ずっと苦しいままだぞ。

もっと、もっと体が冷たくなるんだぞ。

お前、生きていくしかないんだぞ。

死ぬなんて許さない。

そのうち声もかすれて出なくなるぞ。

お前、いつか歳をとって最期死ぬ時まで、イチミリも満たされない

ままなんだぞ。

洋服を馬鹿みたいに買いまくった。
化粧品、香水、雑貨、煙草、ブーツ、小説、CD、漫画。買いまくった。

私、綺麗でしょ。綺麗でしょ。
もっともっと、いっぱいになきゃ。
毎日飾りつけなきゃ。

クリスマスツリーみたいに。

バイト代、あと百円しか残ってない。だけどどうせ残しても意味ない。だからといって、使ったところでちつとも満たされない。
満たされないと知って、もっと苦しい。

面倒臭い。

一人で居ると死にそうなくせに、誰かと居るのは余計面倒臭い。
私、誰か居ないと笑えない。
知ってるよ、それくらい。「あ、ごめん。寝てた？ただ暇だったからかけただけなの」
だけど笑うと顔の筋肉痛い。笑うのにも疲れてる。

体調が悪いわけでもないのに。
無意味に心臓、バクバクいってうつとおしい。
まるで体がずっと緊張してるみたいに。

枕のせいかと思って枕放り投げたけど、頭のグラグラ治らない。

電気消したけど、何も変わらない。隣の部屋から笑い声聞こえてくる。

みんな面倒臭くないのかな。
なんか夢の中みたいだな。宙を浮いてるのかな。

ため息が熱いよ。

なんで。

なんでかな。指先が冷たい。

冷たいのに、手のひらに汗が滲んてる。

拭っても、拭っても溢れてくる。

多分、私病気なんだろうな。

でも病院なんて行きたくない。

みつともない。

新しい洋服とか雑誌が床中に散らばってる。

着てみようかな、読んでみようかな、って考えるのも、もう辛い。

ふと窓の外に目をやると、遠くに駅前ツリーが光ってる。

普通になりたいな。

普通になりたい。

みんなみたいに。

みんなと一緒に。

洋服を買ったら嬉しくて。

本を読んだら楽しくて。

カラオケではしゃいでゼロになって。

優しくされたら温かくなって。

そしたら、全てのドロドロが消えて綺麗になって、眩しいぐらいに

輝いて、全部全部心の休まる毎日になるよ。

だけどひねくれた私。病院に行かなければ、かろうじて病気じゃない私で居られる。行ったら多分認めなくちゃならない。

雪が降ってる。

雪だ。今年一番の雪だ。

あれはいつの頃だったかな。

もう思い出せないな。

本当は無かったのかな。

大丈夫？

多分、大丈夫じゃないよ。

体の中、ドロドロした物で溢れてる。

頭痛なんてしたことないのに

「頭が痛いのかな？」

なんてつぶやく。

私、なにか楽しいことあったっけ。

楽しいこと。それってなんだっけ。

だって笑い方忘れたからね。

クリスマスツリーと雪なんてうっとおしいよ。私が頭おかしいみたいじゃない。

ねえ。みんな知らないでしょう。

私のこと。

全然知らないでしょ。

私、こんな風な人間だよ？
後でこっそり笑うかな？

（後書き）

感想頂けたら嬉しいです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1530b/>

新しい物が床中に散らばった部屋で一人。

2010年11月4日13時35分発行